

2025 年 度 事 業 報 告

特定非営利活動法人 就労ネットうじ

ゆめハウス（就労継続支援A型・B型）/みつくすはあつ（就労継続支援B型）

特定非営利活動法人就労ネットうじ

法人 理念

ともにある

～私たちから発信～

ひとつひとつの出会いを
かけがえのないものに、
ひとりひとりの人生を
人間らしく心豊かなものに、
支え合って・つながりあって・響きあっていく、

みつくすはあつが大切にすること

「人としての豊かさ」
誰もが人として、豊かにはたらき、豊かにつながり、豊かに過ごせる

ゆめハウスが大切にすること

「多様なはたらき方をめざす」
ひとりひとりの働きがある、社会に多様な働き方を具体化していく

2025年度事業報告と2026年度にむけて

2025年度を振り返りますと、利用者一人ひとりが、そして職員一人ひとりが「はたらく」ことを通して、その取り組みに対する目的や意義を考えて進んできました。それらがやりがいや生きがいにつながっているのかを確認しながら、真剣に向き合いそして時折振り返りながら事業をやり抜いてきました。

法人理念であります『ともにある～私たちから発信～』を念頭に、地域の中で「みつくすはあつ」は「ともにある」存在になっているだろうか、その立場を考えながら試行錯誤を重ねながら取り組み続けてきました。

環境としましては、職員の入れ替わりや、社会情勢の影響からの物価高騰もありましたが、壁にぶつかってもできない理由にしないで、どうすればできるか？を意識して考えて一人ひとりがその課題に対応していたと思います。心強いばかりです。

何ができるかを前向きに考えて、環境をしっかり捉えて工賃向上を目指して取り組んだ結果、年度末には一時金として各利用者に総額150万円を作業時間をもとに按分して支給できました。平均工賃は30,383円から35,206円に向上しました。

新たな作業挑戦としましては、ヤマト運輸の営業所での仕分け作業の取り組みを開始、利用者・職員のはたらくスキルの獲得から社会参加による社会性の向上、結果的に工賃向上にもつながりました。

施設内では、利用者の個別性を相互に理解、確認したうえでエコボール作業、硬式野球ボールの修繕を通して、学校やチーム選手とのつながりや感謝をお互いに感じながら取り組みました。また、商品として要望のあるものを考えて組ひも作業や木工作业に取り組みました。うじ・はんどめいどショップでは、他事業所の商品や地域のつながりのある方の商品を取り扱い、販売促進に取り組みました。

施設外では、企業内作業（施設外就労）をはじめ、庁舎清掃や公園清掃、地域のコンビニやガレージの除草作業にも取り組みました。

啓発としましては、社会福祉士養成から地域の学生ボランティア等をオープンに受け入れることで、実習生・利用者・職員それぞれ刺激を交互に感じながら取り組めました。結果、相互コミュニケーション力、自分の思いを言語化して相互理解の向上（他者理解・自己理解）にもつながりました。

2026年度は、次につながる人のことを考えられる「次工程」をスムーズにできるように、5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を通して現在の作業内容、作業効率の見直し、前向きな相互コミュニケーションを深めて新規作業の獲得、そして継続していくことについても推し進めていきたいと思います。

かんしゃ工房（就労継続支援B型）

内容

2025年度も、積極的に地域に飛び出し、地域社会や企業とのつながりを維持・拡大することができた。それに伴い、利用者の新たな作業への挑戦の機会が増え、モチベーションやスキルの向上、また、各々の働き甲斐にも結び付けることができた。

エコボール活動では、全体的な修繕数を見ると減少傾向にあったものの、依然として多くのチームとのつながりを維持しており、作業の実演の機会を設ける等、取り組みを応援して頂いている。

2025年度より、ヤマト運輸での荷物の仕分け作業が新たな施設外就労の場として追加され、利用者のニーズに合った多様性のある働き方を提案するとともに、工賃獲得の機会へとつなげることができた。

スタッフMTGでは、みつくすはあつでのルールをみんなで確認した。また、「ポジティブな言葉を知る」「5分で分かる政治の話」「ビジネスマナー」などについて学ぶ時間を作った。仕事をするときに大切なあいさつやマナー、人との関わり方について考え、学ぶ機会となった。

日帰り旅行については、「非日常を体験し、心身ともにリフレッシュを図る」ことを目的とし、アクティビティやゲーム・アニメの世界など多様な4コースを準備。

35名の出席者（出席率：83%）と「満足した」「楽しかった」との利用者の声により、目的は到達したと感じている。

作業実績

（工房内での作業）

- ・エコボール納品数
- ・自主製品作り：既存の製品以外にも新たに編み物の小物作りにチャレンジしました。
- ・（株）智光（卸売業者）：受注作業
- ・マタニティストラップとチラシの封入作業
- ・メルカリ衣服の寸法や写真撮影作業

（施設外での作業）

- ・出店販売：市役所・振興局・オープンカフェ・地域のお祭りでの販売活動
- ・ローソン清掃作業：除草作業・グリストラップ・ゴミ庫の清掃。
- ・マンション特別清掃・除草作業・側溝清掃：特別清掃は年2回実施。
- ・個人の方や地域の団体からポスティングチラシ枚配布（宇治市内）
- ・広野公民館清掃：ワックスがけやエアコンまた蛍光灯の清掃。週2日館内の日常清掃
- ・個人宅のガレージ清掃（草取り・ゴミ拾い）
- ・小倉地域の町内会の公園清掃（草取り・ゴミ拾い）
- ・宇治市職員会館と宇治市公営企業水道庁舎の日常清掃
- ・宇治市福祉タクシーチケットの配布作業
- ・企業とのコラボでの特別清掃：ワックスがけ

（施設外支援）

- ・ポスティング：企業から委託を受け小倉地域へポスティング。
- ・山城北保健所清掃：当該施設内の清掃作業に従事。

2025年度収入分析

2025年度の収入については、施設外就労による収入が全体の大部分を占めた。特に、7月以降、ヤマト運輸株式会社での施設外就労が開始し、7月～3月までの間で約107万円の収入があった。

<全体の収入構造>

年間総収入：4,998,675円

- ・工房内作業作業費：全体の内、約5%
- ・施設外就労作業費：全体の内、約78%（ホームケルン事業を除く）
- ・施設外支援作業費：全体の内、約17%

全体の収入構造を振り返ると、収入の約95%が施設外での作業から発生しているという構造であった。このことから、各外部施設・企業等との連携を維持・拡大し、安定的に仕事を確保することができた年度であったと考えられる。

<月別の動きと特徴>

●収入が大きく伸びた月

- ・3月：733,815円
- ・6月：487,590円
- ・7月：450,635円

●収入が少ない月

- ・5月：305,560円
- ・4月：311,053円
- ・8月：329,186円

※GWやお盆休みなどの影響が考えられる

年度初め、年始は仕事が少なく、徐々に増えていく形で概ね推移していると分析できる。

<ヤマト運輸での作業の影響>

今年度の大きな特徴として、ヤマト運輸株式会社での施設外就労が始まったことが挙げられる。施設外就労の収入のうち、107万円はヤマト運輸での作業による収入であり、公園清掃費を上回る形となった。結果、施設外就労における年度収入約390万円の内、27%はヤマト運輸での作業開始に伴う増収となっている。新規に単価が高く、稼働日数の多い作業を獲得したことが今年度の結果につながったと分析できる。

作業分類別 月別収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
《工房内作業費》	6,235	24,643	45,675	6,743	15,188	2,472	22,926	40,500	36,790	4,050	23,730	10,606
《施設外就労作業費》	207,500	175,300	362,325	367,242	240,728	272,976	350,790	278,437	333,604	342,994	302,883	673,189
《施設外支援作業費》	97,318	105,617	79,590	76,650	73,270	93,800	45,300	49,574	67,074	43,336	69,600	50,020
《月別作業収入合計金額》	311,053	305,560	487,590	450,635	329,186	369,248	419,016	368,511	437,468	390,380	396,213	733,815

作業分類別 年度収入

工房内作業 年間	239,558円	<2025年度収益分析> ヤマト運輸の作業が追加されたことで、施設外就労の収入が大幅に向上。7月からの開始であったが、年度計107万円を工賃に還元できた。
施設外就労 年間	3,907,968円	
施設外支援 年間	851,149円	
合計	4,998,675円	

うじ・はんどめいどショップ（就労継続支援B型）

内容

2025年度はイベント販売、店内販売ともに売り上げが上がった一年となった。宇治橋商店街への観光客が増えたことにより、観光客をターゲットにした店舗作りを行ったことなどが、売り上げに繋がれた。また、日曜日の営業を試行的に（4月5月6月7月8月）と行い、売り上げに繋げることができた。（月平均34,000円程）。

地域の方との繋がりや、お店としての役割、人々が求めている商品を提供する重要性を再認識する機会となった。

・ショップ利用者 6名（月～金：2～4名、土：1～2名） ・体験（利用者） 3名

作業実績

<店頭販売>

- ・新商品や、おススメ商品の販売、観光客向けの商品販売、ソフトクリームのプレミアム宇治抹茶フレーバーを目立つように販売。観光客、多くの外国の方を買っていただいた。（ショップの売上1位）
- ・外国からのお客様に対応するため、指差しできる通訳パネルの導入。言葉が通じないながらも、スマホの通訳機能の活用をしたり知っている英語で会話したりとおもてなしの気持ちで接客を行った。

<多様性のある働き方>

- ・利用者一人ひとりの「働きたい」の思いを大切に、日々の中で個別に取り組み実践につなげた。
- ・ショップ体験を経て3名の利用者がショップ利用者となり、お店として活気がでた。

売上平均

	2024年度	2025年度
・はんどめいど商品（仕入れ、水物商品）	117,412円/月	139,616円/月
・つながり商品（地域の方の手作り商品）	61,365円/月	79,902円/月
・作業所商品（他作業所の手作り商品）	82,375円/月	128,014円/月
・自主製品	5,380円/月	7,781円/月

※《年間売上集計表等 別紙資料参照》

売り上げ比較表2025年度・2024年度

2025年度_ショップ_月別売上

単位：円&%

月	売上	内_金レス	レス率	金額増減	前年同月比	2024年度売上
4月	332,820	153,710	46%	130,009	164.1%	202,811
5月	291,500	144,070	49%	140,990	193.7%	150,510
6月	324,470	161,690	50%	150,785	186.8%	173,685
7月	178,420	84,570	47%	38,876	127.9%	139,544
8月	165,195	75,980	46%	65,378	165.5%	99,817
9月	186,510	72,940	39%	60,070	147.5%	126,440
10月	206,630	93,690	45%	24,734	113.6%	181,896
11月	197,330	86,640	44%	66,244	150.5%	131,086
12月	207,051	77,710	38%	46,206	128.7%	160,845
1月	142,770	51,520	36%	-11,871	92.3%	154,641
2月	129,460	56,000	43%	-27,464	82.5%	156,924
3月	206,470	95,050	46%	38,165	122.7%	168,305
計	2,568,626	1,153,570	45%	722,122	139.1%	1,846,504

※ショップ店頭のための売上

※金レス=キャッシュレス

2025年度_イベント売上

■売上TOP10

月	売上（円）	回数	金額増減	前年同月比	2024年度売上	回数
4月	191,073	7	112,621	243.6%	78,452	6
5月	138,648	7	29,513	127.0%	109,135	6
6月	363,749	6	-32,807	91.7%	396,556	7
7月	90,214	4	25,787	140.0%	64,427	5
8月	157,057	5	90,923	237.5%	66,134	3
9月	41,552	4	-51,162	44.8%	92,714	4
10月	372,270	11	16,875	104.7%	355,395	10
11月	244,418	9	-92,691	72.5%	337,109	11
12月	144,295	7	29,769	126.0%	114,526	5
1月	67,339	4	62,625	1428.5%	4,714	1
2月	49,486	3	20,402	170.1%	29,084	2
3月	190,419	6	121,396	275.9%	69,023	5
計	2,050,520	73	333,251	119.4%	1,717,269	65

月	日	曜日	イベント名	売上金額（円）	順位
6	5	木	あがた祭り	193,450	1
8	30	土	いせだ夏まつり	82,580	2
6	11	水	文教販売	82,400	3
3	15	日	グリーンアリーナ神戸	78,280	4
4	20	日	あさくら健康まつり	76,560	5
11	19	水	文教大学販売	74,870	6
7	26	土	北小倉小_夏祭り	71,170	7
10	5	日	中央公民館まつり	66,940	8
10	25	土	彩雲祭	66,300	9
11	26	水	文教大学販売	61,350	10

企業内実習 ホームケルン株式会社（就労継続支援B型）

内容

ホームケルン株式会社は、「廃棄物を資源に！」を合言葉に、役割を果たし寿命を迎えた不要物を、素材や燃料へ再び人の役に立つものへと生まれ変える廃棄物の「総合処理」会社である。

その企業内の工場（2階の安全性が確保されたベルトコンベアー作業室）にて、企業資源廃棄物（資源物）の仕分け作業（飲料の容器・紙・ビニール袋・銅線銅板・プラスチック・鉄等）の一部を担う。

基本的な作業内容は企業の職員から指示をいただき、利用者への作業指導はみつくすはあつ職員が行い且つ仕分け作業を一緒に取り組む。

2025年度の稼働実績は、237日間稼働（前年＋4日）、収入実績は474万円（同＋8万円）であった。

来年度の稼働日（収入）に関しては、ホームケルン株式会社に準ずるが、2025年度と同等分を確保と想定。

ホームケルンに従事する利用者は、3名の増加（2名減・5名増）で全10名となる。

また、平均年齢は43.0歳（2025年11月現在）と前年と比し11.1歳（2024年平均年齢：54.1歳）の若返りが図られ、持続的な人財の輩出に努めた。

利用者

基本通所時間 8時00分～16時45分（移動時間を含む）

通所曜日 月・火・水・木・金（祝日除く）

作業時間

9時00分～16時00分（ホームケルン企業内作業）

定性情報

- ・ホームケルン株式会社で働くにあたり大切にしていること、「明るく・笑顔で・安全に」を朝礼で常に発信。利用者の意識醸成に努める。
- ・経験豊富な利用者の活躍機会創出のため、若手体験者への声掛け（励まし）や清掃場所の指示等のフォローを依頼。
- ・利用者に対し、作業内容のリマインドや職員の想いを伝えるためのミーティングを、前年度より継続し毎月実施。※実施内容：ポジティブシンキング・ビジネスマナー・政治について・自転車の交通ルールなど
- ・利用者間の人間関係円滑化のため、「たより」のケルンワークス欄に、利用者が仕事で大切にしていることを記事化。※たより記載内容：チームへの想い・自分の障害・仕事の経歴等
- ・「団結力強化」を目的に、初のケルン組1泊旅行を実施。食べて飲んで観光し英気を養う。
- ・チームとして取り組む利用者間の人間関係の変化に対し、職員は常にアンテナを張り、変化があれば、都度対応にあたる。100%の解決には至らないが、少しずつ良くすることを目指す。

啓発（就労継続支援B型）

内容

2025年度は「働く」を通じて良い出会いから、人と繋がりまた交流を深めることができた。

日々の取り組みを機関紙、たより、ブログなどで発信の媒体を活用することで継続的に、地域の中で「ともにある」を発信してきた。

内部への啓発の視点として社会参加の機会を狙い、「選挙に行こう」をテーマにスタッフ会議で情勢の学習をし、候補者・公約について等の情報を得て、当日投票に行けない方と一緒に期日前投票に行けた。障害がある方の投票について多様な障壁があることを肌で感じ、取り組みの意義を再確認した。

作業実績

- ・日々の取り組みで、機関誌やたよりの発行、ホームページやブログなどでの情報発信を行った。
機関誌/年2回・たより/年5回・ブログ/毎月
- ・エコボール活動ではボールの受取りや納品時に野球部員や監督、指導者の方との交流を継続することで、相互理解を深める機会につなげることができた。
- ・地域の講師派遣では、職員1名・利用者1名が城南菱創高校に1回講演に行った。
講演費として16,500円頂き携わった利用者に工賃として還元できた。前年は11,000円。（前年+5,500円）授業のコマ数が多かったため。
- ・きょうされん利用者部会などリモートで参加、事業所紹介活動・余暇活動について等の情報交換を行った。
- ・きょうされん洛南ブロックで行っている合同の震災支援活動に組み、募金活動を行った。
- ・国会請願署名・募金運動では、保護者・利用者・職員で内容について理解を深め、取り組んだ。
- ・中学生（宇治中学校、北宇治中学校）の福祉職場体験学習（2日間）の受け入れ。

支援者実習

- ・実習生として9名の学生を迎える事ができ、実習生だけでなく利用者と職員にとっても貴重な学びの場となった。（同志社大学、龍谷大学、京都医療福祉専門学校、大阪歯科大学）
- ・京都文教大学ボランティア演習での学生を受け入れ。春学期1名。

今年度は、支援者実習等の手当として合計196,860円を頂き工賃に還元できた。（前年度290,000円）

（前年度－93,140円）前年度に比べて実習費の単価が安くなった影響を受けた形であった。また、虐待防止委員会のスローガンである「風通しの良い職場作り」を担った取り組みになった。実習生との対話の中で、職員や利用者ともに自分の想いや実践また障害について等を言語化する良い機会となった。

今年度は宇治支援学校からの実習生がいなかったため、次年度の課題として知ってもらえる取り組みを進めていく。

2025年度事業報告と2026年度にむけて

2025年度も常に相談し悩みながら、新たなことに挑戦する一年となりました。

無事に終える事が出来たことは、一重に関係者みなさまのご理解とご協力のおかげです。

心より感謝申し上げます。

さて、新報酬体系がスタートして二年目となりますが、2026年度には本報酬改定へ向けた臨時報酬改定が予定されています。特にB型事業所においては、平均工賃区分が細かく分けられることから、引き続き注視しながら対応していく事となります。また、物価・資材の高騰、中東の世界的な情勢の不安から大きな影響を受けています。これは一人ひとりの生活をも圧迫する事態となっています。引き続き行政含め必要な団体と連携をとりながら支援策へつなげていきます。また、その時々で業務内容の工夫と、優先順位を見極め、多様な団体と連携をとりながら前向きな変化へと切り替えてきました。

A型事業では、2021年度から運用している独自の業務評価基準を更新しながら進めています。自己評価を通し働く姿勢に重点を置いたやり取りでは、ご本人への十分な説明のもと進めてきました。内発的に変化していく姿を感じ、ご本人と共有できることはうれしい限りです。また企業と連携した施設外就労・施設外支援の実施も全力で進めてきました。2026年度も継続していくもの、切り替えていくものをしっかりと捉え、また検証し、新たな展開へつなげていきます。

課題としては、定員10名規模に対して現員3名で運用していることがあげられます。

B型事業では、柱とする飲食部門の枠に調整を加えながら、2026年度に向けて調整を進めてきました。具体的に、2024年11月から試行的に市役所2階のフリースペースでドリンクサービスの提供を実施してきましたが、関係者と検討を重ねた結果、継続を断念し、2025年度後半からは新たな業務に向けて調整を進めてきました。

工房部門では強みとする地域企業・団体とつながりを持ちながら、各部門ともに新たな取り組みを進めてきました。

また、工賃についても、平均工賃が35,419円から38,729円と確実に上昇しています。そこには現場の工夫なしには変化はないと捉えています。知恵を絞って工夫する実践を引き続き進めていきます。

全体として、2025年度も新たな作業に挑戦し、検証しながら展開し、2026年度へつなげる実績となり、引き続き「多様な働き方を目指す」ことを実践し続けていきます。

私たちは、共に生きるための社会制度の構築や、環境・風土を実践を通し伝えていくため、知恵を絞り日々の取り組みを検証しながら前向きな変化へとつなげていきます。

そして日々の活きた実践を大切にしながら、法人が理念とする「ともにある」のもと、活動を継続していきます。

引き続きよろしくお願いいたします。

くりーんねっと（就労継続支援A型）

全体

作業内容の変化にも対応しながら、仕事に対する姿勢やチームで作業する上で大切なコミュニケーションである『挨拶』に取り組んできました。その結果、一人ひとりが意識して実践している様子が見られました。今後はさらに視野を広げ、周囲への感謝の気持ちを伝えることについても意識していきます。

また、B型から実習の受け入れもあり、A型として作業を教えることや、見本となる事を意識しながら取り組んできました。さらに、チームワーク向上のため2025年度もA型のみで宿泊旅行を実施しました。「飛行機に乗ってみたい」という声をきっかけに北海道を訪れ、初めてのモーニング体験や乗馬など様々な経験をすることができました。この旅行は、多くの「初めて」を経験する機会となり、余暇活動を通じて自己発信に繋がる機会となりました。

独自の評価表（特別清掃への参加の有無等）を活用したモニタリングを通して自己の働きを振り返り、各々がA型としての意識を持って作業に取り組む姿勢が見られました。また、運用を重ねる中で見えてきた課題や実情を踏まえ、一部内容の見直しを行いました。以前から掲げている「賃金の向上を目指す」という目標に則りさらなるステップアップを図ることに繋がりました。週20時間以上の勤務を継続し、新規業務へも積極的に参加し、雇用者としての自覚を持って日々の業務に取り組むことを目指し、個別支援計画に基づいて支援を進めています。

今後も継続課題として最低賃金の上昇に伴う賃金支払いのバランス確保が挙げられます。上昇する最低賃金の額に対応しながら適切な賃金水準に近づけていく事とあわせ、個別支援計画やモニタリングを通じて本人と相談を重ね、「多様な働き方」の実現を引き続き目指していきます。

利用者

A型利用者数 3名（2026.3.31現在） 2026.1 1名退所 2026.2 1名B型から
B型利用者のA実習（9名）（通常清掃、特別清掃含む）

特別清掃時、専門機器を扱う利用者の増加。

基本通所時間 10時～16時

労働時間 週20時間以上30時間未満

通所人数 1日 3名

作業場所

- ・産業振興センター 全館清掃（日常清掃・特別清掃）
- ・宇治公園橘島公共便所清掃
- ・東宇治地域福祉センター（日常清掃・特別清掃）
- ・円蔵院
- ・サクラハイツ
- ・ライオンズマンション宇治第2（日常清掃・特別清掃）
- ・伊勢田地区公園除草作業（5ヶ所）
- ・小倉明星園デイサービスセンター（日常清掃・特別清掃）
- ・O'sビル（日常清掃）
- ・広野公社デイサービスセンター（特別清掃）
- ・その他 特別清掃依頼に対応（年間1～2回）
- ・宇治浄水場
- ・Coco 壱番屋

ゆめハウス（就労継続支援B型）

2025年度は、出店販売や自主製品の受注、施設外実習などを通して、利用者一人ひとりの働く力や経験を積み重ねる取り組みを行いました。利用者の工賃向上にもつながり、働く意欲を高める機会となりました。

新たな取り組みとして、株式会社良品企画 無印良品 松井山手店の店内で「染めはんかち体験」、宇治植物公園で宇治市青年会議所のイベントで「畳コースター体験」を初めて実施し、地域の方との交流や創作活動の幅を広げる機会となりました。また、大きなイベントとして、京都社会就労センター協議会会員施設と協力し、「全国ナイスハートバザール in 京都」を春と秋に開催しました。売り上げが利用者の工賃向上につながっただけでなく、準備や運営を通して事業所職員同士の連携や団結も深まり、事業所以外にも良い効果を生み出す機会となりました。

余暇活動では、日帰り旅行として「大阪・関西万博」へ出かけ、宿泊旅行ではプライベートヴィラを利用しました。利用者同士の交流やリフレッシュだけでなく、「これまで経験したことのない体験」を大切に、新しい場所や文化、人との出会いに触れる機会となりました。今後も利用者の興味や可能性が広がるような余暇活動を企画していきたいと考えています。

施設外実習では、新たに「ゆうゆうの里」での洗い場業務とみつくすはあつと連携して「クロネコヤマト」での荷物の仕分け業務が始まり、実際の現場で働く経験を積む機会が広がりました。また、障害のある利用者が現場に入ること、受け入れ先職員にとっても障害理解や関わり方を考える機会となり、お互いに良い影響を与え合える取り組みとなっています。

支援学校からの実習生についても積極的に受け入れており、実習生には、ゆめハウスでの経験の中から何か一つでも今後の糧となるものを持ち帰ってもらえたらと願っています。また、ゆめハウスの利用者や職員にとっても、新しい風を運んでもらうことで良い刺激となっています。

今後もゆめハウスらしく「人とのつながり」を大切にしながら、利用者の成長や社会参加につながる活動に取り組んでいきます。

利用者

B型利用者数 17名（2026.3.31現在）
A型実習体験者数 10名（通常清掃、特別清掃含む）
施設外支援 2名
基本通所時間 10時～16時
通所人数 （月～金）10～14名／日 （土）3名／日

作業内容

- ・ゆめカフェ（毎週金曜日）2026.3.31終了
- ・かむ come カフェ（毎週月・火・水曜日）
- ・2nd カフェ（毎週月～金曜日）2026.3.31終了
- ・工房
- ・出張喫茶、出店販売 ＊出店販売年間 75回
- ・通常清掃 3ヶ所（服部医院、宇治市役所除草、米坂墓地）
- ・【A実習】特別清掃 1か所（西宇治公園プール清掃）
- ・リサイクル（古紙、プラトップの回収、海外リユース〈器器プロジェクト〉）
- ・製菓
- ・企業実習（Coco 壺番屋・ゆうゆうの里・クロネコヤマト・総合庁舎）

エコボール（硬式野球ボールの修繕）

協力学校・チーム

- ・大阪産業大学
 - ・高槻リトルリーグ
 - ・岐阜中濃ボーイズ
 - ・洛南高等学校
 - ・夢道場ワールドベースボールアカデミー
- 【新規 1 チーム】・西京極ボーイズ

年間修繕数

2025年1月～2025年12月

399球

評価

2025年度も、学校やチームと連携し、継続してエコボールの修繕に取り組みました。利用者が役割をもって作業に関わることで、働く力や責任感を育む機会となっています。

今年度は新たに1チームとのつながりができ、継続的にボールを預けていただける関係づくりを進めることができました。また、全国の事業所からの問い合わせや見学も引き続きあり、エコボールの取り組みが全国へ広がっていることを実感しています。

大きな取り組みのひとつとして、「第8回エコボール全国集会 in 宇治」を開催しました。全国の連携事業所が集まり、活動報告や情報交換を行うことで、事業所同士のつながりを深める機会となりました。毎年利用者にもエコボール事業を進める一員として数名参加してもらい、その場でしか味わえない雰囲気を経験してもらっています。

今後もエコボール事業を通して人とのつながりを大切にしながら、利用者と球児の皆さんとの交流から生まれる相乗効果を大切にしていきたいと考えています。ボールを通して互いを知り、支え合う関係が広がることで、利用者の自信や社会参加につながるだけでなく、球児の皆さんにとっても新たな気づきにつながる活動を継続していきます。

工 房（自主製品）

さをり製品

- ・ 染め和紙織り（念珠入れ・通帳入れ・名刺入れ・ティッシュケース・コースター）
（コースター）合計 約1,200枚
- ・ 発注元 いたるセンター （ほっとはあとセンターより）600枚
- ・ 宇治市障害者街頭啓発物品 38枚
- ・ 伊勢田学区福祉委員会 155枚
- ・ ぶらり嵐山、ぶらり三条で販売 216枚
- ・ うじ・はんどめいどショップ53枚、各種出店等で販売 約200枚
（木製クリップ）
- ・ 京都新聞社会福祉事業団 820個

刺し子製品

- （ふきん）
- ・ みつくすはあつ年末お礼品 23枚
- （ハンカチ）年末お礼品・干支（午）
- ・ ゆめハウス 70枚 ・ キョーシンオート 50枚 ・ おもてなし処阿吽 20枚
（手ぬぐい）干支（馬）
- ・ 天ヶ瀬苑 40枚

染め紙製品

- （マグネットブックマーク3枚セット）
- ・ 発注元 いたるセンター （ほっとはあとセンターより）300個（150個・150個）
- ・ 発注元 日本セルフセンター 100個

い草製品

- （コースター）合計 約4,100枚
- ・ 京都府山城振興局 3,500枚
- ・ ぶらり嵐山、ぶらり三条で販売 285枚
- ・ うじ・はんどめいどショップ 120枚、市民ギャラリー、各種出店等で販売

体験

- ・ さをり織り体験・畳コースター体験・染めはんかち体験

評価

2025年度は多くの販売や受注につなげることができました。新たに「さをり織り」を施した木製クリップを開発し、既存製品にはない新しい商品づくりにも挑戦しました。また、畳コースターの製作については継続した受注につながり、地域での販売やイベント出店を通して、多くの方に製品を手にとっていただく機会となりました。染め紙体験や畳コースター体験などの体験型活動も実施し、企業や地域とのつながりも広がり、製品づくりを通して事業所の活動を知っていただく機会にもなっています。

ゆめカフェ

実施曜日 毎週金曜日 （月4～5回）

実施時間 11:30～14:00 （ラストオーダー13:30）

利用者 4名ほど 2～3人が交代で入ります。
・1日およそ25食程度の食数が出ます。

評価

2025年度も、ゆめカフェではランチ提供を通して、利用者の調理・接客・清掃などの経験の場づくりに取り組みました。仕入れや下準備、衛生管理など日々の活動を通して利用者が主体的に関わる姿が多く見られ、働く力や生活力の向上につながりました。

また、HACCAPに基づく衛生管理にも継続して取り組み、安全な食事提供に努めました。

長年地域の方々に親しまれ、多くの利用者や関係者に支えられながら活動を続けていきました。「ゆめカフェ」は、利用者の経験や成長、地域交流の場として10年以上その役割を果たし、2026年3月31日をもって閉店することとなりました。

今後は「かむ come カフェ」に活動を集約し、引き続き利用者の成長や地域とのつながりを大切にしたい取り組みを進めていきます。

かむ come カフェ

実施曜日	毎週 月・火・水曜日
実施時間	11:00～14:00（2026年度より15:00まで営業）
実施場所	宇治市役所8階 コミュニティスペース
利用者	1名ほど（2026年度より2名）

評価

2025年度は、宇治市役所8階コミュニティスペースにおける「かむ come カフェ」の運営を通じて、利用者の就労経験や地域交流の機会づくりに取り組みました。利用者が主体的に活動する姿も増え、接客や準備などを通して、働く意欲や自信につながっています。

また、季節に合わせたイベントや限定メニューを実施したほか、初めて貸切で講師の先生を招き、障害のある子をもつ保護者向けの「ひとやすみ cafe」も開催しました。新しい取り組みに挑戦することで、地域とのつながりを深める機会となりました。

2026年度からは営業時間を15時まで延長し、利用者の活動機会の拡大や売上向上、より多くの地域の方に利用していただける場づくりにつなげていきたいと考えています。

今後も関係部署と連携しながら、地域に開かれたコミュニティスペースとして、利用者の成長や社会参加につながる活動を継続していきます。

2025年度	営業日	来店者数	月/売上金額(円)	日/平均(円)	備考
2025/4月	13	277	97,900	7,531	お花見イベント (ミニパウンド)
5月	10	214	75,000	7,500	こどもの日イベント (ジャンケン)
6月	13	301	113,700	8,746	野菜販売・雨の日ポイント
7月	13	279	99,700	7,669	野菜販売・七夕イベント
8月	10	171	65,700	6,570	夏休みイベント(千本引き)
9月	12	279	98,050	8,171	満月クッキー
10月	12	234	83,000	6,917	ハロウィンクッキー
11月	10	206	69,900	6,990	一口パウンドケーキ
12月	12	265	90,400	7,533	Xmasクッキー
2026/1月	11	227	82,350	7,486	お正月イベント (お菓子すくい)
2月	10	208	73,500	7,350	バレンタインイベント (チョコラスク)
3月	14	302	106,050	7,575	ホワイトデーイベント (フロランタン)
合計	140	2,963	1,055,250	7,538	
2024年度	141	2,961	1,003,750	7,119	

2nd カフェ

実施曜日	毎週 月～金曜日
実施時間	11:00～14:00
実施場所	宇治市役所2階
利用者	1名ほど

評価

2025年度は、宇治市役所2階ギャラリースペースにおいて「2nd カフェ」として、接客やドリンク提供を中心に運営しました。

営業を重ねる中で、固定客も増え、地域に親しまれるカフェとして運営することができました。一方で、事業全体の運営体制や今後の展開を検討した結果、「2nd カフェ」は2025年度をもって閉店し、今後は「かむ come カフェ」に活動を集約していくこととなりました。

2025年度	営業日	来店者数	月/売上金額(円)	日/平均(円)	備考
2025/4月	18	268	69,600	3,867	
5月	17	272	70,250	4,132	
6月	19	337	82,650	4,350	
7月	18	322	76,900	4,272	
8月	16	245	56,800	3,550	
9月	17	295	68,350	4,021	
10月	15	243	58,450	3,897	
11月	14	233	57,450	4,104	
12月	11	181	42,000	3,818	
2026/1月	6	109	27,350	4,558	
2月	6	137	36,000	6,000	
3月	6	143	37,400	6,233	
合計	163	2,785	683,200	4,191	
2024 年度	78	1,124	301,050	3,860	

製菓・出張喫茶(一部物品を含む)

- ・心身障害者福祉センター（京都府社会福祉事業団）
年間9回
- ・介護教室(宇治市小倉明星園)2022年4月より月1回（第2木曜日）
年間7回（2025.10月をもって終了）
- ・宇治市役所 販売年間15回
- ・オープンカフェ 年間10回
- ・事業所や個人様からの依頼によりお菓子の委託販売
- ・その他出店 ナイスハートバザール、SAND-ICHI、縁庵まつり、宇治市植物公園販売、
西小倉おさんぽラリー、うじ・はんどめいどフェア（アルプラザ宇治東）、県まつり
夏休み子どもわくわくフェア、折居台こども夏まつり、白川明星園まつり
あさぎりフェスティバル、清涼院寺カフェ、中宇治公社、広野公社、白川ひかりまつり
南陵町祭り、わんさかフェスタ、紅葉フェスタ・環境ふれあいフェスタ
環境フェスタ、宇治ボランティアフェスティバル、深草100円商店街、
ともいきフェスティバル、小倉福祉バザー、同志社こむぎこ企画、
まなびんぐフェスタ、健康長寿フェス、インクルーシブ day

評価

2025年度は、地域のイベントや大学・企業との連携企画に積極的に参加し、製菓・出張喫茶を通して多くの方にゆめハウスの活動を知っていただく機会となりました。近隣の高齢者施設の開所記念品の大口の受注にも取り組み、利用者が製作に関わりながら、地域との新たなつながりを広げる機会となりました。

製菓作業では、計量や袋詰め、シール貼りなど、一つひとつの工程に役割があり、利用者が自分に合った作業へ主体的に参加できる機会となっています。作業を積み重ねることで集中力や持続力、衛生意識が身につくだけでなく、「自分たちが作った商品を買っていただける」という経験が自信ややりがいにつながっています。また、仲間や職員と協力しながら作業を進めることで、就労に向けた実践的な経験の場となっています。

海外リユース（器器プロジェクト）

連携団体

宇治市内を中心とした 11 事業所

評価

海外リユース事業は、各ご家庭に眠っている陶器を中心とした食器を回収し、海外に販売していく取り組みです。また、回収した器の中から、セレクトした器に新たにデザインを加え製作したプロダクトも販売しています。きっかけは宇治市役所まち美化推進課の海外リユース事業をもとにしています。回収業者を通じて得た利益は利用者工賃に還元しています。

目的として、工賃アップにつなげる事と合わせて地域の課題解決（SDGs・家じまい・終活・転居等）につながる取り組みから新たな仕組みづくりにつなげていく事を目的としています。

2025年度では施設前掲示、かむ COME カフェを通じて多くの方々にお問合せと回収をさせて頂きました。また個人だけでなく、桃寿苑さん（高齢者施設）などからも声をかけていただきました。SAND-ICHI（無印良品さんとのコラボ企画）等のイベントでの回収協力もあり、回収、選別、箱詰めなど作業として地域につながる取り組みにもなっています。結果、年々実績にもつながっています。

今後も引き続き海外リユース（器器プロジェクト）に力を入れて参ります。

トータル回数	搬出日	全体搬出量(kg)	全体金額(円)	ゆめハウス(円)
25	2025/4/21	2,005	92,695	18,900
26	2025/5/26	1,788	80,460	17,190
27	2025/6/23	1,960	86,380	16,045
28	2025/7/28	2,048	91,845	13,905
29	2025/8/28	1,195	53,850	34,345
30	2025/10/10	1,782	80,663	8,213
31	2025/11/25	2,077	93,465	0
32	2025/12/25	2,164	98,840	27,245
33	2026/1/29	2,354	104,135	17,955
34	2026/2/17	1,925	85,860	30,985
35	2026/3/23	1,777	92,110	29,705
合計	11 回	21,075	960,303	214,488

参考

2022年度実績（全体）	搬出 6回	搬出量 12,598kg	569,000円
2023年度実績（全体）	搬出 8回	搬出量 15,140kg	685,810円
2024年度実績（全体）	搬出10回	搬出量 19,556kg	883,920円